THE ROTARY CLUB OF KITAMI

Rotary

R. I. DISTRICT 2500 JAPAN

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス https://www.kitamirc.jp

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレッツォ

第3518回例会・2025年9月3日

本日のプログラム

「北見ＲＣ創立夜間例会（88周年）」

第3517回例会（８月27日）の記録

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。本日は北見商工会議所での移動例会ということで、新しくなった商工会議所をお借りして、先人たちが紡いできた歴史について、服部会員と商工会議所の方にお話をいただきます。商工会議所の前身は大正８年に設立された「野付牛実業協会」で、のちに「野付牛商工会」として認可を受けています。昭和15年には道内で８番目、町としては全国初の商工会議所として認可された記録が残っております。その後「北見商工会議所」と改名され、社団法人格を取得しました。昭和29年には商工会議所法に基づく現在の組織となっております。あまり私が詳しくお話しすると、服部会員が話す内容がなくなってしまうと思いますので、詳しい部分は服部会員にお願いしたいと思います。

さて、昨日から北海道や東北地方で線状降水帯が発生し、大雨による大きな災害が起きております。稚内や豊富町では196ミリという激しい雨に見舞われ、大規模な道路の冠水など、大変大きな被害が出ているようです。どうか皆さんもご移動の際には、気象情報に十分注意していただきたいと思います。

本日の例会を皆さんに楽しんでいただければ幸いです。以上で会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告 高橋幹事

1．ロータリークラブ創立夜間例会のご案内です。すでに出欠はＬＩＮＥグループとＦＡＸにて取っておりますが、当日3,000円を徴収させていただくこともあり、改めてご案内させていただきます。
2．４ロータリー合同　ガバナー公式訪問夜間例会の件です。すでに意見交換会とともに、先週から出欠を取っておりますが、その際に懇親会がございますので、こちらでも3,000円の徴収をさせていただきます。９月３日の創立夜間例会の際に、ガバナー公式訪問例会分の3,000円も併せて徴収させていただきたいので、出席予定の方は、ぜひよろしくお願いいたします。

プログラム

「職場移動例会（北見商工会議所）」

■岸本職業奉仕委員長■

皆さんお疲れ様です。北見商工会議所は、地域の経済発展のために経営支援サービスを実施している、北見にはなくてはならない事業所であります。北見経済センタービルは、このように綺麗に新しく生まれ変わりました。本日の例会は、その長い歴史と、これからこの経済センタービルをどのように活用していくのかを知る機会としていただきたいと思います。それでは、服部会員からご説明させていただきたいと思います。

■服部会員■

本日は職場移動例会として、経済センタービルをご利用いただきありがとうございます。65年ぶりに移転したということで、その歩みを含めてご説明させていただければと思います。

現在、北見商工会議所は1,615社の会員が所属し、議員は80名です。各業界から選出された議員のもと、商業、工業、建設、理財、サービス、運輸車両といった部会を設置し、業界ごとの課題や要望を伺っています。委員会については、都市振興・中小企業・交通観光・税務労政・総務という５つの構成で、会議所の運営にあたっていただいております。会議所の歴史についてですが、前身は大正８年に設立された「野付牛実業協会」です。その後、大正15年に「野付牛商工会」、昭和15年に「野付牛商工会議所」として設立が認可され、これが会議所のスタートということになります。当時は伊谷半次郎さんが会頭職に就かれたと記録があります。戦時中は「北海道商工経済会北見支部」として扱われましたが、昭和21年には「社団法人北見商工会議所」として発足し、昭和29年の商工会議所法施行に基づき、現在の組織体制となりました。昭和29年には第１回「北見商工まつり」が開催されました。お祭りの名称は、その後昭和39年に「北見夏まつり」、昭和54年には「北見ぼんちまつり」と変更され現在に至ります。昭和31年には北見市議会場をお借りして、北見で初めての全道大会を

開催いたしました。昭和36年には当時の議員、会員の皆様から資金集めに御協力いただき「北見会館」が建設されています。当時は北見市の所有の建物でありました。昭和44年、全道大会が当時の経済センター３階で開催されました。昭和45年には北見会館が市から譲渡され、商工会議所の所有となりました。また、創立30周年の記念事業も行なっております。昭和48年には従業員の労働対策として住宅団地を造成し、最終的に201戸を整備しています。昭和49年には北見会館から北見経済センターと名称が変更になりました。昭和50年には「北見ばやし」が平尾昌晃氏の作曲、西村みどり氏の振付で誕生しました。昭和53年には、再開発や東急百貨店の進出、また女満別空港のジェット化を会議所として要望活動を実施いたしました。お祭りの部分では、「屯田大綱引き」が始まりました。この時には千昌夫さんを招いてのファミリーショーも行われ、これが後の北見のビールパーティー文化につながりました。平成２年には「サンバ北見ばやし」という現在の原曲となるものが出来上がり、永田会員にも歌っていただいて現在に至っております。平成９年には高知商工会議所と姉妹提携を結びました。平成12年には創立60周年を契機として青年部も設立されました。そして今回、新しい経済センタービルが完成しました。皆様のご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。ビルの概要、再開発事業についての資料もございますので、そちらも併せてご覧いただければ幸いです。

■北見商工会議所　因参与■

私からは北見経済センターの概要について説明させていただきます。建物につきましては、当会議所および北洋銀行様が入居する地上６階建ての北見経済センタービルのほか、現在建設中の地上14階建て94戸の分譲マンション「デュオヒルズ北見」、それから昨年完成し既に供用が開始されている市の「休日・夜間急病センター」、さらに今後計画されている地上５階建て50戸の高齢者福祉施設、そして153台収容の立体駐車場が整備される予定です。また、駅から日赤病院へ行く際に約11メートルの高低差があり、その解消のためにオレンジ色で示されたバリアフリー動線を、当センタービルと休日・夜間急病センターのエレベーターを利用して確保する計画があります。また、「交流広場」を整備し、休息の場としてはもちろん、キッチンカーやイベントの活用を目指しています。事業は令和５年６月に既存建物の解体から着工し、令和６年８月に休日・夜間急病センターが完成、10月から供用が開始されました。現在施工中の分譲マンションは本年12月に完成予定です。高齢者福祉施設と立体駐車場、交流広場につきましては、解体工事完了後に各工事に着手し、事業全体の完了は令和10年３月を予定しています。総工費は93億7,000万円で、そのうち41億6,500万円は国と市からの補助金です。北見経済センタービルの建設については、地元企業である五十嵐・天内・松谷・北洋・山本工務店の共同企業体が21億9,800万円で請け負い、令和５年12月８日に着工、約18か月後の本年５月27日に完成しました。６月９日から新事務所での執務を開始しています。建物の概要については、鉄筋コンクリート・鉄骨造、地上６階建て、延床面積5,590.87㎡です。１・２階は北洋銀行様、３・４階はアルファコート㈱の所有する貸事務所、５・６階は北見商工会議所が使用しています。所有関係は、敷地建物を北洋銀行様・アルファコート㈱・当会議所の３者による区分所有で、会議所の持ち分は28.275%です。駐車場については、旧北洋銀行跡地に45台の駐車場（北洋銀行所有）、共栄火災跡地に41台の駐車場（うち７台が商工会議所、36台がアルファコート㈱所有）が整備される予定です。また、中央通りを挟んだ向かい側には153台収容の立体有料駐車場が来年11月に完成予定であり、経済センタービルにお越しの方はそちらを利用することになります。建物の特徴としては、耐震性を一般建物の1.25倍に強化し、避難施設相当としました。５階会議室を含め、帰宅困難者の一時待機場所として利用できるよう、６月12日に市と災害応援協定を締結しました。また、LED照明など省エネに配慮し光熱費の削減も図っています。会議所が入る５・６階についてですが、６階は執務室のほか、エントランスホールに受付カウンター・打ち合わせスペース・相談コーナー・相談室を設け、会員や来客が安心して利用できるようにしました。さらに、北西側には会頭室・特別会議室、またこれまでなかった職員休憩室も新設しました。執務室は以前の約1.8倍の広さです。貸会議室は５室設けており、現在利用している会場は、パーティションを外せば約200㎡、収容人数90名、仕切れば約100㎡、収容人数45名の会議室２室として利用可能です。さらに、21㎡（8名収容）、12㎡（12名収容）の会議室も整備しました。そのほか貸事務所区画も満室で、全て入居が決定済みです。北西側奥には、連携支援機関事務所として北見ビジネス総合サポートセンターなど４団体が入居しています。この後、実際に各部屋をご覧いただけますので、ご質問等ございましたらお気軽にお声掛けください。

会員の輪

先日（８月24日）、北見で開催したライラセミナー（2023年10月）の講師を務められた登山家「野村良太さん」のガイドツアーでトムラウシ山（2,141m）へ登山をしてきました。

野村さんは相変わらず登山ガイドの仕事を中心に執筆活動やラジオの収録など、活発に活動してます。ライラセミナーの後には結婚～１女（７ヶ月）に恵まれ、充実した生活を送られております。私もこの日はBirthday登山、メモリアル登山となりました。　（主藤　雅裕）

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計　算　式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	C+E+F/(A−B)+D×100
本日	8／27	63	0	39	0	3	−	42	66.667%

【次回9月10日】

「Passion Talk」

2025～2026年度　北見R.C.活動方針

「クラブに革新を　笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

青少年交換

ロータリー青少年交換は、最も人気のあるプログラムの１つで、国際的な理解を深め、生涯にわたる友情を育むものです。青少年交換は、青少年にとって、世界の他の地域を目にする興味深い機会と豊かな体験になり、国際理解と親善を推進するため、すべてのロータリークラブに多いに推奨されている活動です。